

5 仁淀川第三発電所建設工事について

四国電力 K K 土木部

森田 盛夫

仁淀川第三発電所は仁淀川の最下流に設けられた加枝発電所の下流において河川が大きく屈曲して流れる半島部を短絡して比較的短い水路により約30米の落差を得て発電を行うもので、その特異性としては取水口、水路、発電所を堰堤、堤体およびその直下のアフロン部内に設け、これに接続して延長2334米の放水路により仁淀川本流へ還流せんとするもので、又発電所の運転操作は上流の加枝発電所で行う遠隔制御方式である。この発電所の建設工事の概要を説明する。

計画概要

取水河川名	仁淀川水系	仁淀川
流域面積	961.05	平方料
取水口位置	高知県高岡郡越知町大字野老山字三ツツ	
発電所位置	〃	〃 大字野老山
放水口位置	〃	〃 横留北字十佐沢
使用水量	最大 $44 \text{ m}^3/\text{sec}$	常時 $14.6 \text{ m}^3/\text{sec}$
有効落差	最大使用水量時 26.750	常時 28.705
発電力	最大 $10,000 \text{ KW}$	
	常時 $3,000 \text{ KW}$	
年間発生電力量	67,110,000	KWH